

公益財団法人小山台教育財団 2019 年度事業報告 (2019 年 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日まで)

公益財団法人小山台教育財団は、1997 年以来継続してきた英国交換の相手先 NPO 法人 Bridport Young Persons' Action Trust から事業継続が困難との申し出を受け、新たな候補先との交換事業について検討を開始した。2020 年 2～3 月にかけて新型コロナ・ウィルス感染の拡大により、当財団が予定していた台湾交換交流派遣、暮らしに役立つ講座、ランチタイム・コンサートの各事業の中止を余儀なくされる等、当財団の事業実施に影響が生じた。2019 年度における事業別実施状況は以下の通り。

I. 国際交流事業（公益目的事業）

国際交流を通じて青少年の国際相互理解教育および異文化体験を行うとともに、真に日本を理解する能力を育てるために海外体験派遣、交換交流派遣及び海外チャレンジ支援を実施した。

1. 英国海外体験派遣

英国ボーンマス市に派遣し、ホームステイをしながらキングス・カレッジで世界各国の青少年とともに語学研修を受講するプログラム。本年度は、高校 1 年生はサマーバケーションエキストラコース、高校 2 年生以上はインテンシブコースの研修を受講した。大学生リーダー 2 名が同行し、現地における取りまとめの役割を果たした。

- (1) 参加者：在品川区都立高等学校の生徒及びその卒業生である大学生 合計 20 名
- (2) 期間：2019 年 7 月 28 日～8 月 19 日（23 日間）

2. 英国交換交流派遣

英国・ブリッドポート市における NPO 法人 Bridport Young Persons' Action Trust (BYPAT) と連携して、日英間で派遣と受入を隔年に行うプログラム。本年度は、英国へ派遣する年度であったが、BYPAT から受入側の体制が調わないとの申し出があり、英国交換交流派遣は募集を行わず、事業実施を中止した。

3. ドイツ交換交流受入

ドイツ・ベルリン市の私立カニジウス・コレーク・ギムナジウム校との連携による交換交流プログラム。日本側学生のドイツ派遣とドイツ側学生の日本受入とを、原則として隔年に行う。2019 年度は、ドイツ側学生の日本受入を実施した。前年度のドイツ派遣に参加した日本側学生の家庭が、ホストファミリーとしてドイツ側学生を受入れ、剣道・茶道等クラブ活

動の体験及び日本の史跡・名所の視察・訪問等を通じて、日独学生の相互理解・国際交流を推進した。

(1) 参加者：ドイツ側生徒 9 名及び引率者 1 名、合計 10 名。

(2) 期間：2019 年 7 月 10 日～7 月 30 日（21 日間）

4. 台湾交換交流派遣

日本側学生を台湾における連携先である環球科技大学に派遣し、台湾側学生と一緒に大学における講義および体験学習を受講し、現地の歴史・文化に触れるとともに国際交流を推進するプログラム。本年度は募集および事前研修を実施したが、日本国内及び台湾における新型コロナ・ウイルス感染拡大の状況に鑑み、派遣団員の安全確保が難しいと判断されたことから、環球科技大学と協議のうえ派遣を中止した。

(1) 事前研修参加者：在品川区都立高等学校を卒業した大学生 9 名

(2) 予定していた派遣期間：2020 年 3 月 8 日～16 日（9 日間）・・・中止

5. 海外チャレンジ支援

海外における留学・研修・専門的研究・インターンシップ・ボランティア・芸術・スポーツ等の活動を通じて国際的視野に立脚した教育機会ないし目的達成のための研鑽に必要な費用の一部を助成するプログラム。助成対象者は在品川区都立高等学校の卒業生である大学生。本年度は、1 名に対して助成金を支給した。

(1) 長期留学助成受給者：1 名

留学先：セントメリーズ大学（カナダ）1 名

(2) 短期研修助成受給者：該当者なし

(3) 多様性キャリア開発助成受給者：該当者なし

II. 奨学育英事業

1. 在品川区都立高等学校向け奨学育英事業（公益目的事業）

在品川区都立高等学校に在学する就学意欲のある有為な生徒で、経済的理由で学業が困難なものに対して奨学金の給付を実施した。

(1) 一般奨学金（23 名）

① 対象：高校 2 年生以上の生徒

② 給付額：6 月から翌年 3 月まで月額 1 万 5 千円（1 人、年間 15 万円）

(2) 臨時奨学金（9名）

- ① 対象：高校1年生もしくは家庭状況の急変等で緊急に援助が必要になった生徒
- ② 給付額：10月から翌年2月まで月額1万5千円（1人、年間7万5千円）

2. 都立千歳丘高校向け奨学育英事業（相互扶助等事業）

都立千歳丘高校関連財団丘和会から当財団が受領した寄付金を原資として、千歳丘高校生徒に対する育英奨学金として特別奨学金を支給するもの

(1) 特別奨学金（1名）

- ① 対象：千歳丘高校生徒。
- ② 給付額：1人あたり年間10万円

III. 社会教育事業（公益目的事業）

社会公共の教育及び文化の発展に寄与するため、地域住民等に対する生涯学習の推進及び文化の向上に関する事業を実施した。

1. 公開文化講座

地域住民等に対する公開文化講座を実施した。

- (1) 募集対象：主として品川区、大田区、目黒区の住民
- (2) 開催実績：8回
- (3) 講座内容：文化、健康、音楽等をテーマとする講座およびコンサート

2. 寺子屋小山台

企業の第一線で活躍するビジネスマンを対象として、日本社会の中核を担う人材を育成するためのリーダー養成講座を実施した。

- (1) 募集対象：在品川区都立高等学校の卒業生を中心とする社会人
- (2) 開催実績：9回
- (3) 講座内容：政治・経済・国際関係等をテーマとする講義および討論

3. 中学校のクラブ活動の支援

小山台高等学校が中学校の課外クラブを対象として行う、技術等の向上のための講習会の開催を支援した。

- (1) 受講対象：品川区、大田区、目黒区の中学校課外クラブ部員

(2) 開催実績：15 回

(3) 活動内容：硬式テニス技術講習会、ソフトテニス技術講習会、バスケットボール技術講習会、バドミントン技術講習会、管打楽器講習会、理科実験教室、茶道お点前教室、天体観測技術講習会

4. 暮らしに役立つ講座

社会保険労務士、行政書士、税理士を講師として、日々の生活に役立つテーマを取り上げて解説する講座を実施した。なお、同講座は当初 3 回開催を計画していたが、新型コロナ・ウイルス感染拡大に伴い、3 月の第 3 回講座を中止した。

(1) 募集対象：在品川区都立高等学校生徒の保護者ならびに近隣住民

(2) 開催実績：2 回

(3) 講座内容：遺言と相続の基本、確定申告を行う場合の留意点、相続が発生する前一押さえておくべきポイント

5. ランチタイム・コンサート

近隣住民等に対して、音楽を通じた憩いの場を提供するランチタイム・コンサートを開催した。なお、同コンサートは当初 12 回開催を計画していたが、新型コロナ・ウイルス感染拡大に伴い、2～3 月のコンサートを中止した。

(1) 募集対象：在品川区都立高等学校（小山台、大崎、八潮）PTA 及び近隣住民

(2) 開催実績：10 回

(3) コンサート内容：フルート、ピアノ、チェロ、ハープ、トランペット、ヴィオラ、ファゴット、ヴァイオリン

IV. 学校教育事業（相互扶助等事業）

都立小山台高等学校の教育環境の整備を図ること並びに小山台高等学校生徒の健全な心身の育成を増進するために、小山台高等学校に対し下記支援活動を実施した。

1. 進路指導・学力向上助成

2. 学校行事・班活動補助

3. 学校広報助成

4. 定時制助成

V. 海外派遣者ネットワーク事業（相互扶助等事業）

当財団が実施する国際交流事業に参加した海外派遣経験者を主体とする会員組織を通じて、これら派遣経験者間の相互交流・海外からの交換経験者との交流・その他海外からの来日者との交流等の活動を実施した。

1. 国際的相互交流活動

来日外国人及び在日外国人との交流活動・・・開催実績：1回

2. 会員並びに学生との相互交流活動

会員相互並びに会員と当財団の国際交流における海外体験・交換交流派遣生ないし参加経験をもつ学生との交流活動・・・開催実績：4回

VI. 会館運営事業（相互扶助等事業）

小山台会館の会議室・ホールを、財団内の打合せに加えて教育・福祉増進・文化の向上等に資する会議・会合・懇親の会場として運営した。また、小山台会館の諸設備の補修・更新を実施した。

年間利用実績：2,148件

VII. 財務

当財団の事業の更なる発展を期して、次世代を担う高校生・大学生の育成を主眼とする特定寄附金及び使途の指定のない一般寄附金の募集を実施、多数の方々からの寄附金が寄せられ、当財団事業を支える財務基盤の強化に貢献した。

以上

2019 年度事業報告の附属明細表
(2019 年 4 月～2020 年 3 月)

I. 国際交流事業

1. 英国海外体験派遣 20 名

	男子	女子	合 計
高校生	7	10	17
大学生	1	2	3
合 計	8	12	20

2. ドイツ交換交流受入 9 名

	男子	女子	合 計
高校生	2	6	8
大学生	1	0	1
合 計	3	6	9

3. 海外チャレンジ支援 1 名

区分	男子	女子	合 計
長期留学	0	1	1
短期研修	0	0	0
多様性キャリア開発	0	0	0
合 計	0	1	1

II. 奨学育英事業

1. 一般奨学金 23 名

高校	男子	女子	合 計
小山台	3	5	8
大崎	11	4	15
八潮	0	0	0
合 計	14	9	23

2. 臨時奨学金 9 名

高校	男子	女子	合 計
----	----	----	-----

小山台	1	7	8
大崎	0	0	0
八潮	1	0	1
合 計	2	7	9

3. 特別奨学金 1名

高校	男子	女子	合計
千歳丘	0	1	1

III. 社会教育事業

1. 公開文化講座

講師	題目	来場者数
嶋矢 志郎	対米追従から独自路線の日本外交へ	66
福田 早穂	『花と色のパワー』でもっと楽しく、ハッピーに！！	77
伊藤 ちひろ	琴の魅力	91
三遊亭 歌橘	落語界の不思議な話一笑いと小噺を交えてー	140
清水 茂俊	イギリス古城散歩	95
根本 葉子	コミュ力を上げて、日々の暮らしを豊かに	53
青木 満	<台風のため日程変更> 10歳若返る養生法と病気予防	37
加納 民夫	レクチャーコンサート	94
	合計	653

2. 寺子屋小山台

	講師	内容	参加者数
プレ	福川 伸次	受講生にのぞむこと	12
	藤井 浩行	「自分が源泉」というあり方	
1	大澤 佳雄	リーダーシップ論	14
2	矢ヶ崎 隆二郎	運用から見たグローバルな世界	11
3	北野 尚宏	国際貢献	10
4	小渕 敏郎	日本の政治について	11
5	朝岡 聡	リーダーとしての伝え方	11
6	朱 建榮	中国から見た日本	10
7	福川 伸次	これからの日本	10
8		受講生発表	6
		合計	95

3. 中学校クラブ活動支援

活動内容	日付	参加者数
硬式テニス技術講習会	11 月 3 日	8
ソフトテニス技術講習会	2 月 9 日	9
	2 月 11 日	19
バスケットボール技術講習会	10 月 1 日	200
バドミントン技術講習会	8 月 2 日	15
管打楽器講習会	2 月 2 日	350
理科実験教室	6 月 15 日	20
	8 月 23 日	15
	8 月 24 日	15
	9 月 15 日	30
	9 月 16 日	30
茶道お点前教室	8 月 24 日	20
	8 月 25 日	20
	10 月 5 日	20
天体観測技術講習会	10 月 5 日	16
合計	15 回	787

4. 暮らしに役立つ講座

	講座名	講師	来場者数
1	遺言・相続に関する 法律改正をチェックしましょう！	社労士・行政書士 喜多村郁子	33
2	暮らしに役立つ税金の話：所得税編	税理士 原田 文香	41
3	暮らしに役立つ税金の話：相続税編 ※コロナウイルス感染拡大に伴い中止	税理士 原田 文香	中止
	合計		74

5. ランチタイムコンサート

	出演者名	演奏	来場者数 (概算)
4 月	池田菜見子 周璟悦 沢田千秋	フルート ピアノ	70
5 月	菊岡万智 山田理沙 沢田千秋	フルート チェロ	60
6 月	石丸瞳 沢田千秋	ハープ	52
7 月	原香奈恵 沢田千秋	ヴィオラ	44
8 月	橋爪あやか 柳澤香澄 沢田千秋	ファゴット二重奏	33
9 月	竹内隆太 毛利美智子 沢田千秋	トランペット ピアノ	32
10 月	松川葉月 上村奈々珠 沢田千秋	ヴァイオリン ピアノ	33
11 月	竹内麻美 沢田千秋	ピアノ	38
12 月	阪本七海 沢田千秋	ピアノ	43
1 月	藍沢晶子 室井佳子	フルートピアノデュオ	50
2 月	新型コロナウイルス感染拡大に伴い 中止		中止
3 月	新型コロナウイルス感染拡大に伴い 中止		中止
	合計		455

IV. 学校教育事業

分類	事業名
進路指導・学力向上助成	キャリア教育推進
	サテライト講習
	小論文特別講習
	2 学年勉強合宿補助
	大学入試過去問題集
	進路指導用資料
	理科講義実験
学校行事・班活動補助	合唱コンクール
	運動会物品購入
	運動会団席設置
	運動会医師等謝礼
	マラソン大会
	夏季合宿コーチ経費助成
	ブラスバンド班演奏会
	テーピング講習会
	班活動等物品購入
	施設賠償責任保険
	保健室生徒対応補助
	上部大会等出場支援
学校広報助成	学校案内パンフレット作成費
	学校案内ポスター作成費
	学校広報活動費
	学校説明会関連消耗品等
定時制助成	実習教材援助費
	キャリア教室謝金
	人権教育推進
	授業講師・班活コーチ費用助成
	学校行事助成費
	生徒褒賞費
	班活動助成費
	学習・生活相談支援

V. 海外派遣ネットワーク（相互扶助等事業）

1. 国際的相互交流活動

活動内容	日付	参加者数
フィリピンフェスティバル受入支援	11 月 28 日	27
合計		27

2. 会員並びに学生との相互交流活動

活動内容	日付	参加者数
都内散策	5 月 12 日	13
社会人 BRANCH・BRANCH 総会	7 月 20 日	30
講演：戦争を語る	8 月 25 日	26
キャリア講演会及びワークショップ	3 月 1 日	16
合計		85

VI. 会館運営事業

会館利用状況

施設名	収容人数	年間利用件数
203 会議室	20	155
204 会議室	20	270
205 会議室	55	288
207 音楽室	45	372
301 会議室	8	149
302 会議室	8	163
303 中ホール	50	182
304 大ホール	130	381
B01 談話室	40	163
10A 多目的ホール	—	25
合計	376	2,148

以上